

好きです!



南関三小

学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力

考える力

やり抜く力

熊本地震関連教材「つなぐ」を使った道徳科公開授業を実施しました

～心を寄せ合い、共に学ぶ道徳の時間～

本校では、道徳科の授業において「熊本の心」と熊本地震関連教材「つなぐ～熊本の明日へ～」を通して、子供たちが「協力する力」「考える力」「やり抜く力」を発揮しながら、自分の生活を見つめ直す時間を大切にしています。授業は保護者や地域の皆さまにも公開し、子供たちの学びを共に感じていただける、開かれた学校づくりを進めています。

今年度は、熊本地震から10年という節目の年です。4月18日（土）、全学年で熊本地震関連教材「つなぐ」を使った道徳科公開授業を実施しました。

5年生の道徳科授業では、担任の石田あき先生が、教材を通して「親切や思



いやり」について学習を進めました。そして、授業の後半に、熊本地震関連教材「つなぐ～熊本の明日へ～」の教材作成者で、昨年まで三小に勤務された小柳美穂子先生をゲストティーチャーとして招き、熊本地震に伴う地震のボランティア活動などの体験を元に、5年生児童に話していただきました。小柳先生は、「つなぐ」の教材「ボランティアって、楽しいよ」のモデルでもあります。

授業の途中にサプライズで登場された小柳先生にみんな喜び、熊本地震に関する自分自身のお話や、ボランティアを始めたいきさつ、やりがいについて話していただきました。

また、「一人の力は小さくても、協力すれば大きな力に変わります。誰かのために動くことは、実は自分自身が元気をもらい、成長することでもあります。私たちは一人で生きているの



ではありません。困った時は『助けて』と言える勇気を持ち、周囲に目を向け自分にできることを考える。その一歩が、素敵な学校や社会を創る力になります。」と伝えられ、子供たちの心にとっても響いていました。「つなぐ」を使った授業では、子供たちと保護者の皆さまと一緒に心を寄せながら考える時間を持ちました。

英語専科 前田三奈子先生

今年度も専門的にかつ有意義に英語を学ぶために、南関第二小学校から英語専科の前田三奈子先生が来校され



授業をしていただきます。大変お世話になります。外国語科授業や外国語活動において、世界の国々の挨拶などたくさんの英語表現をアウトプットして慣れ親しむために活動をしていきます。また、前田先生に、英語表現を教えてください、お互いに英語を使ってやり取りをする活動、相手意識を大切にコミュニケーション活動を行っていきます。

新聞投稿の取組

南関三小では新聞投稿を積極的に行っています。「学習発表会で平和の尊さを伝える劇を努力と協力を重ね練習し、最初は失敗の連続だったが何度も練習を重ねることで克服し、『失敗は成功のもと』を実感したこと」を表現した6年生の井口舞桜さん「努力と協力を大切にしたい」【R8.3.27日付け熊日】が掲載されました。また、「スティーブ・ジョブズ氏の『他人の言葉で自分の本当の声を消してはならない』という言葉に出会い感動して、自分と周囲の考えを尊重しながら、対話を通じて考えを深めていく決意」を綴った6年生の高木想さん「方向性を示す 言葉と出会う」【R8.3.27日付け熊日】が掲載されました。

（学年は昨年度の学年）どうぞご覧いただきご一読ください。南関三小では、国語科の授業や週末作文の取組を充実させ、子供たちの表現力を高めていきます。